

3. リチウムイオン二次電池とセパレータ市場

3-1 リチウムイオン二次電池の市場動向

3-1-1 国内のリチウムイオン二次電池生産・販売量と推移

(1) 生産量と用途別生産推移

リチウムイオン二次電池は1991年に日本で商品化された電池であり、わが国は世界の生産拠点として急成長したが、韓国、中国の台頭によりわが国の生産量は停滞していった。表3-1にリチウムイオン二次電池の国内生産量、生産容量、生産額を示す。図3-1は生産量と生産容量の推移である。

表3-1 LiBの生産量、生産容量、生産額

	数量 (万個)	容量 (百万Ah)	金額 (億円)
2007年	105,470	1,583	3,151
08年	118,928	1,955	3,858
09年	99,933	1,683	2,708
10年	120,273	2,047	2,775
11年	109,504	1,915	2,270
12年	88,949	2,105	2,816
13年	78,643	2,082	2,763
14年	91,395	2,782	3,451
15年	98,324	3,114	3,441
16年 (1~9月)	91,849 (127.8)	2,939 (130.6)	2,820 (113.2)

リチウムイオン二次電池の生産量は90年代後半から急激に増加し、06年に10億個を超え、08年には11.9億個まで拡大した。09年は世界同時不況の影響で10.0億個へ減少したが、10年は12.0億個と過去最高を記録した。しかし、生産量は10年をピークに減少へ転じ、13年は7.8億個まで縮小した。

しかし14年は9.1億個へ増加し、15年も9.8

億個と増加した。16年は

1~9月の累計生産量が

91,849万個で、前年同期

比27.8%という高い伸び

率を示した。16年は最終

的に12.6億個と予測され、

10年の最高記録を上回る

見通しである。生産容量

は11年から13年にかけて

伸び悩んでいたが、14

年から増加に転じ、15年

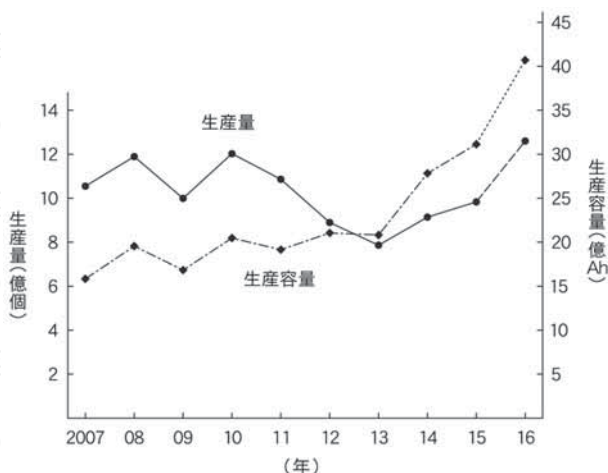


図3-1 リチウムイオン二次電池の生産量・生産容量推移